

東広島市美術館に行って、 本物の美術作品にふれたよ！ ～ 眼でふれる — 5つのまなざし ～

2月17日(水)に東広島市美術館に行きました。東広島市に由縁のある5名の作家さん(ゼロ・ヒガシダさん、小林 敬生さん、長瀬 義郎さん、吹田 文明さん、岡崎 紀さん)の作品が展示されていることもあり、子どもたちは、親近感をもち、関心をもって作品を鑑賞することができました。そして、何よりも本物の美術作品にふれることで、作品の見方や楽しみ方も学ぶことができました。

子どもたちは、自分たちの木版画体験と比較しながら、作家さんそれぞれの表現方法が多岐にわたること、伝えたいことは何かなども考えながら、鑑賞していました。美術館には、作品の良さを味わうことはもとより、未来に残す役割があることも知ることができるよい機会となりました。

お気に入りの作品
を見付けたいな！

鏡ばりの左右対称の
作品もすごい！3段階
で木版画をされている
作品もあったよ。

<児童の感想より>

左右がまったく同じ絵や、魚、植物、虫、建物、星、動物など様々な物が描かれた絵があっておどろきました。幻想的で、まるでその絵に引き込まれそうな絵もありました。今まで見たことのない形の作品がたくさんあって面白かったです。

人が作られた作品とは思えない、とても大きな作品もありました。不思議な色や形をしていました。色鮮やかな色の絵や、大きく作られている作品もあり、とても苦労されたのだなと思いました。どの作品も人をたくさん引き付けていてすごいなと思いました。

私が気に入った作品は、・・・。また、見に行こうと思います。

4年生



ぼくも、作品を見
たかったな。作品の
良さを4年生にた
くさん教えてもら
ったよ！

